

金沢美大創立80周年を記念して 同窓会、大学、県立図書館の共催でさまざまなイベントを開催します。

2026年は金沢美術工芸大学創立80周年の年です。
これを機に、金沢美大同窓会はその名称を「けやき会」とし、
現役学生を含む、全ての世代の人たちが自由につながり合うことが出来る
コミュニケーションの場をコンセプトに新たにスタートします。

11月1日～3日の美大祭と時期をあわせ「手をのばし、心を繋ぐ。80周年WEEK」と銘打って
大学、県立図書館との共催でさまざまなイベントを開催。
市民の方々も交えた創造性溢れる交流の場にしたいと思います。

石川県立図書館

金沢美術工芸大学

TIME TABLE

2026年 11月1日(日)

11:00～12:30 アート、デザイン、そしてキュレーションの『いま』
14:00～15:30 気づいたらこんな仕事をやってた～金美の先にある多様性と可能性～

2026年 11月3日(火・祝)

10:30～12:00 クリエイターは、この先どうやって『AI』と付き合っていく？
14:00～15:30 これからの能登に、クリエイティブができること
16:00～ ① けやき会のこれからを考える ～GESTとともにフリートーク
② けやき会ロゴコンペ・結果発表&表彰式

■ 石川県立図書館 だんだん広場にて(入場無料)

■ 同時期、同図書館 2F 研修室にて(入場無料)開催します。是非ご覧ください。

金沢美大同窓生の幅広いジャンル・年代から代表作、新作など多数展示。
実物の作品から映像までさまざまな作品をご覧いただけます。

同窓生たちが発表してきた、多くの作品、また社会的に話題になった仕事等、幅広いジャンルと年代の代表作、
新作を集めて展示します。さらに今回、実際のアートワークの展示はもとより、映像・デジタル画像の紹介もします。
金美同窓生の活躍の幅の広さを見ていただく絶好の機会となることでしょう。

■ 日程：2026年10月27日(火)～11月8日(日)※10:00～17:00 11月2日(月)は休館日

■ 会場：石川県立図書館 2F 研修室(入場無料)

■ 展示内容：●リアル部門(実物を展示します)：絵画作品、彫刻・立体作品、デザイン作品、工芸作品など作品を展示。
●動画・画像部門(会場のモニターまたはプロジェクターで展示)：動画、映画、CM他を展示します。
●BOOK部門：出版された書籍、絵本、コミックスを展示します。その場で手にとって読んでいただけます。

石川県立図書館
住所：〒920-0942 石川県金沢市小立野2-43-1
TEL：076-223-9565
mail：library@pref.ishikawa.lg.jp
ホームページ
https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp



駐車場 400台
入庫後30分無料、以降30分ごとに100円。
図書館利用者は駐車料割引機の手続きにより
3時間無料。※周辺道路は混雑が予想されます。
ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。



金沢美術工芸大学同窓会ホームページ
https://www.kanabidousokai.com/



金沢美大創立80周年ウィーク事務局
mail：80th@kanabidousokai.com
住所：〒920-0047 金沢市大豆田本町甲251(宮下印刷株式会社 内)



金沢美大の卒業生が あの日考えていたこと 今日思っていること 明日やりたいこと

金沢美術工芸大学 創立80周年記念イベント

卒業生による トークセッション

■日程：2026年11月1日(日)・3日(火・祝)

■会場：石川県立図書館「だんだん広場」
(入場無料)

主催：金沢美術工芸大学同窓会「けやき会」
共催：金沢美術工芸大学 / 石川県立図書館

手をのばし、心をつなぐ。トークセッション

金沢美大80年の財産である「人」にフォーカス。
金美を卒業後、想像を超えた、さまざまなジャンルで活動する同窓生が集い、
美大生、同窓生のみならず、多くの人にとって興味深い多様なテーマについて語り合います。

2026/11/1 (sun)

session 01 session 02

11:00～12:30 14:00～15:30

アート、デザイン、そしてキュレーションの『いま』
気づいたらこんな仕事をやっていた～金美の先にある多様性と可能性～

金沢美大で磨かれた創造の原点は「いま」どのように活かされているのか。
アート、デザイン、そしてキュレーション。それぞれの分野のいまを探ります。
どうしてここに辿り着いたのか。
関係ないようで、どこかで金美としっかり繋がっている。
さまざまなジャンルで活躍する卒業生を迎え、
美大と現在を繋ぐ秘密に迫ります。

GUEST



松嶋 雅人 MATSUSHIMA Masato
東京国立博物館 副館長
日本美術史を専門とし、中近世絵画から浮世絵、近現代美術まで幅広く研究。国内外の展覧会を多数企画し、文化財の新たな展示・公開手法にも取り組む。
芸術学専攻1990年卒



鈴木 元 SUZUKI Gen
株式会社GEN SUZUKI STUDIO 代表
スタジオを自宅に併設し、生活とデザインを隔てないアプローチで、日用品、家具、家電などのプロダクトデザインを行っている。
工業デザイン専攻1998年卒



指江 昌克 SASHIE Masakatsu
美術家
日常に埋め込まれた記号や都市の断片を収集・再構成し、過去と現在が交差する風景として油彩で表現。国内外で作品を発表している。
油絵専攻1998年卒

MODERATER



稲垣 揚平 INAGAKI Yohei
Age Design / Cultural Design Strategist
積水樹脂を経て2005年に金沢でAgeDesign創業。工芸・医療機器からまちづくりまで手掛ける。領域を超えたデザイン・アート思考で創造の可能性を日々探求しています。
工業デザイン専攻1995年卒

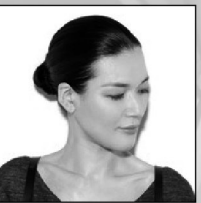
GUEST



伊藤 満 ITO Mitsuru
一般財団法人アフリカンアートミュージアム館長
資生堂宣伝制作室で34年間、化粧品のパッケージデザインや広告制作を行う。2010年にアフリカンアートミュージアムを開館。現在まで毎年数回の企画展を開催。鐔の著書多数。
商業デザイン専攻1975年卒



外山 雅暁 TOYAMA Masatoki
外山知的財産事務所・代表弁理士・デジタル庁サブユニット長特許庁、経済産業省、デジタル庁で、主にデザインに関する政策に従事。2025年に弁理士として独立後、デジタル庁の知財部の立上げや、デザインと知財、経営をつなぐ活動を推進。デジタル庁の取組で2024年度グッドデザイン・ベスト100を受賞。
工芸デザイン専攻1998年卒



諏訪 綾子 SUWA Ayako
アーティスト・food creation主宰
「食」を表現媒体に、人間の本能や無意識に働きかける作品を国内外で発表。金沢21世紀美術館、資生堂ギャラリーなどで個展を開催。食から新たな表現領域を切り拓いている。
商業デザイン専攻1999年卒

MODERATER



河崎 圭吾 KAWASAKI Keigo
金沢美術工芸大学 教授
学生の興味関心ごとのビジョンを社会に接続するプロジェクト「Visionary Thinking」を2020年より行う。
工業デザイン専攻1987年卒

2026/11/3 (tue)

session 03 session 04

10:30～12:00 14:00～15:30

クリエイターは、この先どうやって『AI』と付き合っていく？
これからの能登に、クリエイティブができること

今の時代のクリエイターにとって、AIは新しいものではなく
当たり前につき合っていかなければならない存在。
実際の仕事の現場で、AIはどのように使われ、
役立っているのか。
徐々に記憶が薄れていく能登震災。
それでも多くの課題が変わらずに残っている。
そんな能登の継続的な活性化に
「クリエイティブだからこそできること」はないだろうか。

GUEST



尾小山 良哉 OKOYAMA Yoshiya
株式会社ABAL代表取締役・CEO
弱冠24歳からTV-CMの演出を始め、現在はクリエイターの視点から、独自の空間拡張技術による映像制作システムのプロデュースを手掛ける。
商業デザイン専攻1996年卒



ぼぶりか
映像制作チームHurray!代表
少人数規模による3DCGや手描きアニメーション作品を中心に制作を行う。映画『数分間のエールを』、ヨルシカ『雨とカプチーノ』など。
視覚デザイン専攻卒



山村 有史 YAMAMURA Arifumi
パナソニック株式会社 デザインセンター
パーソナルデザイン課メンズカテゴリーリーダーとして、「ラムダッシュパームイン」「ドルツ」などのデザインを手掛ける。
製品デザイン専攻2019年卒

MODERATER



佐藤 義浩 SATO Yoshihiro
けやき会関東支部副支部長
元、電通のクリエイティブディレクター、現在はフリーで活動。大学ではグラフィックデザインを学ぶも、あっさりとCM制作に転向する。
商業デザイン専攻1984年卒

GUEST



西又 浩二 NISHIMATA Koji
一般社団法人萬学舎・理事・画家
輪島市町野町でログハウスプロジェクト「家建てっぞぉー」を立ち上げ、地産地消と自力建設による低コスト化で、被災地のコミュニティー再生を目指す。
石川県能登町出身
油絵専攻1986年卒



新谷 健太 SHINYA Kenta
海浜あみだ湯労働者協同組合・代表理事
珠洲市野々江町で公衆浴場などを運営。被災後は入浴支援で復旧に貢献し、NHK「ドキュメント72時間」などで放映。現在は珠洲市内の復興まちづくりにも関わる。／北海道北見市出身
油画専攻2015年卒



坂口 歩 SAKAGUCHI Ayumi
広告代理店・勤務
在学中、能登町白丸で被災した経験を新聞「MEDIUM for NOTO」として表現し卒業制作とする。現在も東京と能登を往来し取材を重ね、新聞づくりを継続している。／石川県能登町出身
視覚デザイン専攻2025年卒



星野 美月 HOSHINO Mizuki
ブックオフコーポレーション株式会社
在学中、七尾市能登島向田町の「島宿せがわ」で壁画制作プロジェクトを結成。力強い絵が完成し島の復興のシンボルとなる。現在も交流を続け支援している。／栃木県日光市出身
日本画専攻2026年卒

MODERATER



荻田 真司 OGITA Shinji
山一ハウス株式会社・代表取締役
七尾市田鶴浜町の町家をリノベーションし、コミュニティーの場「タツルエ」として運営。大阪と能登を往来しながら、「他所者の気付き」を復興のアイデアとして実践する。／大阪市生野区出身
工業デザイン専攻1995年卒